

京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）

2019（令和元）年度計画

－ 2019（令和元）年度 京都市上下水道局運営方針－



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ホタルの澄都（すみと）くん

《実施状況》



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ホタルのひかりちゃん

令和 2 年 9 月

京都市上下水道局

【目次】2019（令和元）年度計画（上下水道局運営方針）の取組項目一覧

3つの視点	9つの方針	30の取組項目	頁
視点① 京の水をみらいへつなぐ	① つくる 水源から蛇口までの水質管理を徹底し、安全・安心な水道水をつくります	① 水源から蛇口までの水質管理の徹底 ② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進 ③ 安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化	2 2 2
	② はこぶ 老朽化した管路の更新と耐震化を進め、水道水を安定してお届けし、下水を確実に集めます	① 配水管等の適切な維持管理の推進 ② 安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化 ③ 安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上 ④ 下水道管路の適切な維持管理の推進 ⑤ 優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化 ⑥ 適切に下水道をお使いいただくための啓発や動奨	3 3 3 4 4 4
	③ きれいに 下水をきれいに川へ返し、市内河川や下流域の水環境を保全します	① 下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上 ② 水環境保全センター施設の再構築 ③ 健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善	4 4 4
	④ まもる 市民の皆さまとともに、地震や大雨などの災害から、まちとくらしを守ります	① 「公助」としての災害に強い施設整備や危機管理体制の強化 ② 「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化 ③ 「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進	5 5 5
	⑤ いどむ 新しい技術を取り入れながら、周辺地域や海外を含めた広い視野で、未来に向けた挑戦を続けます	① 常に発展し続けるための新技術の調査・研究 ② 広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮 ③ 国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成	6 6 6
視点② 京の水でここをはぐくむ	① こたえる 分かりやすく伝え、しっかりと声を受け止め、市民の皆さまの期待に応え続けます	① お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化 ② お客さまの声を反映した新たなサービスの展開 ③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進	7 7 8
	② ゆたかに 琵琶湖疏水の魅力を高め、地球環境にやさしい事業運営により、まちやこころをゆたかにします	① 琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献 ② 創エネルギー・省エネルギーによる低炭素社会の実現への貢献 ③ 地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献	9 9 9
視点③ 京の水をささえつづける	① になう これまで培ってきた技術をしっかりと継承し、京の水の担い手を育て、きずなを強めます	① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける企業力の向上 ② 京の水をともに支える市民・事業者の皆さまとの更なる連携	10 10
	② ささえ 50年後、100年後を見据えた経営を行い、将来にわたって京の水を支え続けます	① 施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減 ② 業務執行体制の見直しや民間活力の導入等による経営の効率化 ③ 将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化 ④ 継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討	11 11 12 12

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針① つくる

取組		取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課	
①	水源から蛇口までの水質管理の徹底	水質監視の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○水質監視装置更新・増設計画に基づき山間地域の水質自動監視装置設置及び機能増設工事の実施設計(2019年度) ○山間地域の水質自動監視装置設置及び機能増設工事実施(事業年度:2019～2020年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山間地域4箇所水質自動監視装置を増設する工事を発注 ・魚類監視装置及びクロロフィル計等により毒物及びアオコ等の流入の常時監視を実施 ・山間地域4箇所に水質自動監視装置を増設する工事を発注 	技術監理室水質第1課 水道部施設課
		水質検査の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施 ○令和2年度水道水質検査計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画に基づき原水及び水道水の検査を実施 	技術監理室水質第1課
			<ul style="list-style-type: none"> ○水道GLPの認証に基づく精度の高い水質検査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道GLPに基づき、手順書の見直し、精度の高い検査を実施 	技術監理室水質第1課
		水安全計画の継続的な運用	<ul style="list-style-type: none"> ○水安全計画の運用、見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画による水質管理を実施するとともに、改訂作業を実施した 	水道部管理課
②	原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進	最適な浄水処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○臭気除去性能を検証するため、3浄水場(蹴上、松ヶ崎、新山科)において、既存注入設備による高機能な粉末活性炭の注入を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月から6月にかけて水道原水で発生した高濃度のかび臭に対し、高機能な粉末活性炭を注入し、高いかび臭除去性能を確認 	水道部施設課
			<ul style="list-style-type: none"> ○高機能な粉末活性炭注入設備設置工事に係る基本計画の策定及び基本設計の実施(2018～2020年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・粉末活性炭注入設備基本設計業務委託を完了した 	水道部管理課
		施設の機能を維持するための適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○増圧施設、山間地域等の施設の基本情報データベース化(2018～2020年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市水道事業設備台帳整備(その3)業務委託を完了し、京都市水道事業設備台帳整備(その4)業務委託に着手(令和2年1月契約)した 	水道部管理課
③	安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化	新山科浄水場導水トンネルの更新・耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ○新山科浄水場導水トンネル築造工事実施(事業年度:2017～2027年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に着手し、発進立坑の掘削を進めている 	水道部施設課
		基幹施設の改築更新・耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ○新山科浄水場ちんでん池耐震化工事実施(事業年度:2019～2022年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備工事の進捗に合わせて、2020年3月に耐震化工事を着手した ・機械:1系ちんでん池流入調節弁設置中 ・電気:工事契約済。機器製作中 	水道部施設課
			<ul style="list-style-type: none"> ○蹴上浄水場第1最高区配水池耐震化工事実施(事業年度:2019～2020年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年8月に耐震化工事を着手し、2020年度の完成に向けて工事を進めている 	水道部施設課
			<ul style="list-style-type: none"> ○松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事実施(事業年度:2017～2021年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に着手し、既設配水池を撤去した後、2019年度から新設1号配水池の築造を進めている 	水道部施設課
			<ul style="list-style-type: none"> ○新山科浄水場高区4号配水池耐震化工事実施(事業年度:2018～2019年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年9月に耐震化工事を完了した 	水道部施設課
			<ul style="list-style-type: none"> ○新山科浄水場高区2号配水池耐震化工事実施(事業年度:2019～2020年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年10月に耐震化工事を着手し、2020年度の完成に向けて工事を進めている 	水道部施設課
			<ul style="list-style-type: none"> ○松ヶ崎浄水場中央監視制御設備更新工事実施(事業年度:2019～2021年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 本体工事:12月工事契約 機器製作・現地詳細調査中 準備その1:2月に工事契約済 準備その2:3月に工事契約済 	水道部施設課

方針② はこぶ

取組		取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課	
①	配水管等の適切な維持管理の推進	漏水調査の実施 3,000km	・約3,039kmの漏水調査を実施	水道部水道管路課	
		漏水調査や配水管洗浄の継続的な推進	○配水管の洗浄作業(「京(みやこ)の水道管おそうじプロジェクト」)の実施	・年間で8回実施予定分すべてを実施完了	水道部水道管路管理センター
		効果的・効率的な維持管理体制の構築	○水道管路の維持管理部門における南部エリアの体制の構築	・水道管路管理センター南部配水管管理課及び南部給水工事課の集約に伴う移転を完了した	水道部管理課
②	安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化	配水管の更新・耐震化の推進	○老朽化した配水管の更新・耐震化の実施 56km ・配水管更新・耐震化工事実施 33km ・補助配水管更新・耐震化工事実施 23km ・老朽配水管の解消率 31.9%(2019年度末)	配水管(補助配水管含む)耐震化工事実施中、発注延長は目標達成 56km(100%) ・配水管発注延長 33km ・補助配水管発注延長 23km ・老朽管の解消率 31.9%	水道部水道管路課
		最高区吉田連絡幹線配水管 布設工事完了(事業年度:1999～2019年度)	(その13)工事・・・第3四半期(9/27)工事完了	水道部水道管路課	
		低区御池連絡幹線配水管 布設工事実施(事業年度:2014～2022年度)	(その4)工事・・・実施中 (その5)工事・・・実施中	水道部水道管路課	
		地震等災害時における給水のバックアップ機能強化	○高区花園連絡幹線配水管 布設工事実施(事業年度:2014～2020年度)	(その3)工事・・・第2四半期(6/21)完了 (その4)工事・・・実施中 (その6-1)工事・・・発注済、R2年4月着工	水道部水道管路課
		高区岡崎連絡幹線配水管 布設工事着手(事業年度:2019～2023年度)	(その1)工事・・・発注済、R2年4月着工	水道部水道管路課	
③	安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上	貯水槽水道の設置者への啓発・助言 ・戸別訪問の実施 ・貯水槽の適正な管理の指導及び直結式給水への切替えに関する情報提供の実施	・貯水槽水道管理者への戸別訪問調査を実施	水道部水道管路管理センター 北部給水工事課	
		受水槽の適正な維持管理の啓発と直結式給水のPR	○直結式給水のPR ・局ホームページへの直結式給水に関する情報の掲載 ・貯水槽水道設置者への戸別訪問の実施による直結式給水への切替えに関する情報提供及びPR強化	・直結式給水に関する情報をHP掲載 ・貯水槽水道管理者への個別訪問調査実施時に、直結式給水への切替えに関する情報を提供	水道部水道管路課
		指定給水装置工事事業者への適切な指導	○新規事業者を対象とした説明会の実施	新規指定給水装置工事事業者説明会を4回開催(4, 7, 12, 3月)	水道部水道管路課
		○事業者への指導の継続実施(文書通知等)	・随時、指導等を実施 ・全事業者へ更新制に係る通知を送付(7月)	水道部水道管路課	

		宅地内における鉛製給水管取替助成金制度の継続	○助成金制度の継続実施	・平成30年度に拡充した助成金制度の利用促進のため、局ホームページへの掲載等を継続して実施	水道部水道管路課
④	下水道管路の適切な維持管理の推進	計画的な維持管理の推進	○下水道管路の計画的な巡視や点検を実施	・市内全域で下水道管路の巡視や点検を実施	下水道部管理課
			○腐食のおそれ大きい箇所点検調査 3.0km	・該当箇所の点検調査を実施	下水道部管理課
			○修繕履歴等を含めた管路情報のデータベース化	・管路の維持管理の際に収集した修繕情報等をデータベースに反映	下水道部管理課
⑤	優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化	計画的な管路内調査及び改築更新・耐震化の推進	○下水道管路の調査及び改築・地震対策の実施 33km	・計画管路内調査実施 ・管路リニューアル工事設計・実施 ・管路地震対策工事設計・実施	下水道部設計課
⑥	適切に下水道をお使いいただくための啓発や勧奨	未水洗家屋の解消に向けた水洗化勧奨の推進	○全戸訪問による水洗化勧奨の実施	・戸別訪問による勧奨を実施。	下水道部管理課
		工場・事業場排水の監視及び指導	○事業場への立入りによる監視及び指導の実施 ・監視及び指導のための立入検査回数 1,200回以上	立入検査回数 1,340回(年間)	下水道部施設課

方針③ きれいにする

取組	取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課	
① 下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上	適切な維持管理の実施	○点検整備計画に基づく施設の定期整備の実施	・あらかじめ定めた点検整備計画に基づき、水環境保全センターの主ポンプ設備、送風機設備及び受配電設備等の機械電気設備の定期整備を実施	下水道部施設課
	良好な処理水質の維持・向上	○基本情報や修繕履歴等のデータベース化	・水環境保全センターの機械電気設備について、仕様等の基本情報の整理及び修繕履歴の情報収集を実施	下水道部施設課
		○水質管理計画の見直し・継続運用	・水質管理体制検討会議を実施(全ての月)。	技術監理室水質第2課
		○効果的・効率的な運転管理に関する調査・研究の実施 ・処理コスト削減と水質維持の両立	・水環境保全センターの運転管理や水質分析に関する調査・研究を継続して実施。	技術監理室水質第2課 下水道部施設課
② 水環境保全センター施設の再構築	水環境保全センター施設の改築更新・耐震化	○伏見水環境保全センター分流系最初沈殿池改築工事着手 ・伏見水環境保全センター分流系最初沈殿池改築工事(事業年度:2019～2022年度)	・第4四半期に発注を行い、令和2年6月契約予定。	下水道部下水道建設事務所、計画課
③ 健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善	貯留管による合流式下水道の改善対策	○津知橋幹線等工事実施(事業年度:2016～2021年度)	・津知橋幹線工事実施中 ・津知橋北幹線工事実施中	下水道部下水道建設事務所、計画課

方針④ まもる

取組	取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課	
① 「公助」による災害に強い施設整備や危機管理体制の強化	事業・防災拠点の整備及び危機管理に係る体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○市内南部エリアを所管する事業・防災拠点の整備に係る事業者の選定、基本設計の着手 ○「緊急ダイヤル」(仮称)の本格実施 ○BCPや各種マニュアルの点検・修正、防災装備の充実(迅速な情報共有のためにテレビ会議システムや通信機器などの端末を充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に事業者を選定し、12月に事業契約を締結した。 ・事業契約締結後、新庁舎の基本設計に着手している。 ・4月1日から本格実施を開始 ・局内の各所属と課題の抽出及び情報共有を行うため定例会を実施(四半期毎に実施) ・上下水道局災害対策本部設置基準の細分化等を反映した「京都市上下水道局危機管理計画」を改定(7月)し、「上下水道局業務継続計画(震災対策編)」についても改定(令和2年3月)した。 ・昨年度に購入した災害用無線機を北部配水管理課及び南部配水管理課に配備し、災害時の通信手段として活用中。なお、応急給水活動時における総務部内の通信手段として災害用無線機を増加した。 	総務部総務課 総務部お客さまサービス推進室 水道部管理課 下水道部管理課
	施設整備の強化	○仮設給水槽配備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設給水槽の追加購入(9月)、応急給水活動を円滑に行うため、浄水場等への配備の検討や、局職員を対象とした応急給水訓練の実施(10回実施)。 	総務部総務課
		○山間地域の水道施設における非常用発電設備の整備(事業年度:2018～2020年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・(その1) 工事: 工事完了 ・(その2) 工事: 工事完了 ・(その3) 工事: 工事中(1ヶ所のみ先行) ・(その4) 工事: 発注済(当初の(その3)より分割。2ヶ所) ・(その5) 工事: 設計中(当初の(その3)より分割。8ヶ所) 	水道部施設課
		○マンホールトイレの継続的な整備 ・避難所となる小中学校等(16箇所)	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホールトイレ設置予定箇所において、管路地震対策工事実施中 	下水道部設計課
		○防災情報を整理したパンフレットの作成及び啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・水の備蓄(疏水物語)の必要性等を含めた掲載内容を精査し、来年度の啓発活動時に配布予定。 	総務部総務課
② 「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化	危機管理対策の積極的な広報等による市民の防災意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○災害用備蓄飲料水を活用した飲料水備蓄の普及啓発 ・一般公開や各種イベントにおける無償配布の実施 ・市民しんぶんへの掲載等による普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～5月の蹴上浄水場及び鳥羽水環境保全センターの一般公開において、災害用備蓄飲料水(疏水物語)を配布し、啓発活動を実施。 ・8月、ロームシアター京都にて開催されたイベント「プレイ!シアターin Summer2019」にて、災害用備蓄飲料水(疏水物語)をPRピラとともに配布し、啓発活動を実施。 ・11月、第6回消防団フェスタにて災害用備蓄飲料水(疏水物語)を配布し、啓発活動を実施。 ・2月、京都マラソン2020にて災害用備蓄飲料水(疏水物語)を配布し、啓発活動を実施。 	総務部総務課
	防災訓練の充実による連携体制の強化	○京都府下市町や関西自治体等と合同での防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日本水道協会京都府支部合同防災訓練を宮津市にて実施(11月)。 	総務部総務課
		○防災拠点の2拠点化を踏まえた、当局における実践的な防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨の発生に伴い、京都市内において浸水被害が発生した想定の下、情報共有訓練を実施。 ・病院等の重要な施設への災害時における給水活動を円滑に実施する必要があるため、京都市内の災害拠点病院の1つである京都市立病院と連携した応急給水訓練を実施。 	総務部総務課
	③ 「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進	施設整備による浸水対策の推進(鳥羽第3導水きよはじめとした施設整備)	<ul style="list-style-type: none"> ○伏見第3導水きよ及び山科川13-1号雨水幹線の供用開始(事業年度:2015～2019年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伏見第3導水きよ工事完了、供用開始 ・山科川13-1号雨水幹線供用開始
浸水被害軽減に向けた細やかな対策		○雨水貯留施設及び雨水浸透ますの普及促進(設置助成金制度) ・雨水貯留施設 目標120基 ・雨水浸透ます 目標240基	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留施設 設置基数 133基 ・雨水浸透ます 設置基数 194基 	下水道部管理課
		○関係局が連携した雨に強いまちづくりの取組の推進 ・地区別や課題に応じた検討会の開催等	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市「雨に強いまちづくり」推進本部会議等を開催し、推進行動計画に基づく令和元年度の取組を確認 ・地区別検討会を実施し、それぞれの地区の特性に応じた対策を検討 	下水道部管理課、計画課

方針⑤ いどむ

取組	取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課
① 常に発展し続けるための新技術の調査・研究	新技術に係る調査・研究の実施 ○異臭を除去する性能に優れる高機能粉末活性炭に関する調査研究 ○画像認識(AI)を活用した管きよの劣化診断技術の調査等 ○大都市と連携した全国的な課題(施設の劣化調査等)についての調査研究	・高機能粉末活性炭に関する共同研究を継続実施 ・管きよの劣化診断技術の共同研究を継続実施 ・大都市との共同研究を継続実施 ・保健医療科学院との研究会議を6月、8月、11月に開催。水環境学会年會に論文を2題投稿。	技術監理室 監理課 下水道部計画課
	外部機関との共同研究の実施 ○局HPによる募集、共同研究の実施	・8件の共同研究を実施(今年度からの新規案件2件、前年度からの継続案件6件)	技術監理室 監理課 水質第1課
	研究成果等の外部への発信 ○全国水道研究発表会、全国下水道研究発表会等での研究成果等の発信	発表件数(技術分野) ・全国水道研究発表会(10件) ・全国下水道研究発表会(7件) ・IWA世界会議(1件) ・水環境学会(2件)(論文は投稿)	技術監理室 監理課 水質第1課、水質第2課
② 広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮	広域化・広域連携の在り方に関する検討 ○広域化・広域連携の在り方の検討 ・京都府主催の協議会等への参加を通じた府及び近隣自治体との連携 ・広域化・広域連携に係る局内ワーキングの実施	・京都府主催の協議会等への参加を通じた府及び近隣自治体との連携 ・他都市との情報交換 ・広域化・広域連携に係る局内ワーキングの実施	経営戦略室
	府内各事業体との情報交換や技術支援、危機管理体制に係る検討 ○情報交換及び共同研修の実施 ・京都府主催の協議会等への参画 ・水協京都府支部における研修等の実施 ・水道技術研修施設の活用開始	・京都府水道事業広域的連携協議会幹事会(1月)や府主催の園城ごとの会議(水道:6月、9月、12月、下水道:11月)などへ参加し、府及び府内自治体と協議を実施 ・配水管維持管理研修(他都市モニター)の実施に向け調整。 ・水道技術研修施設において、日本水道協会主催の研修を実施(7/17) ・日本水道協会京都府支部・京都府共催研修事業として水道事業広域連携、公民連携の推進に関する研修会の実施(11/22)	総務部総務課、企業力向上推進室 経営戦略室
	○人事交流の実施	・他都市のニーズや動向を調査	総務部職員課
	○水質検査等の受託に係る検討 ・京都府との協議及び情報収集の実施	・京都府主催の水道水質管理技術研修において講師を派遣 ・京都府及び他都市の情報を収集するとともに、具体的な受託業務の検討を実施	技術監理室 水質第1課
	○新たな危機管理体制の構築 ・他都市との合同防災訓練	・日本水道協会京都府支部合同防災訓練を宮津市にて実施(11月)。 (「方針④ まもる」の②「京都府下市町や関西自治体等と合同での防災訓練の実施」再掲) ・名古屋市との「19大都市水道局災害相互応援に関する覚書」に基づく合同防災訓練を実施(1月21日、22日)。	総務部総務課
	流域関係者とのパートナーシップによる琵琶湖・淀川流域全体の水環境保全 ○琵琶湖・淀川流域都市間の協議会等への参画 ・淀川水質汚濁防止連絡協議会や琵琶湖・淀川水質保全機構が実施する調査・研修・報告会への参加及び情報収集の実施 等	・琵琶湖・淀川生物障害等調査小委員会(4月19日、7月18日、11月15日、1月24日実施)に参加 ・琵琶湖・淀川生物障害等調査小委員会の南湖合同調査(5月24日実施、9月13日)及び琵琶湖全域調査(8月22日)に参加 ・淀川水濁協会の水質事故対応講習会(6月5日)に参加 ・関西水道水質協議会(6月5日、1月9日)に参加	技術監理室 水質第1課 下水道部施設課 下水道部施設課、計画課
③ 国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成	○JICA等を通じた海外からの研修・視察等の受入れ ・大阪市・神戸市と合同でJICA課題別研修「都市上水道維持管理」の受入れを実施 ・その他、海外からの研修・視察受入れ等の積極的な実施	・依頼に基づく研修・施設見学等の実施 ・JICAからの受託研修(課題別研修)の受入れ実施(7月～8月)	経営戦略室
	○JICA能力強化研修等への受講機会の設定	・JICA能力強化研修を受講	経営戦略室
	○IWA(国際水協会)会議・展示会参加研修(日本水道協会主催)等の国際会議への論文発表	・「第8回国際水協会(IWA)アジア太平洋地域会議・展示会」、「水中の天然有機物に関する専門家会議(NOM7)」において、当局職員が論文発表	経営戦略室
	新たな可能性を追求するための調査・研究の推進 ○他都市との情報交換や民間事業者との協議等の実施	・他都市等とのJICA研修合同実施による情報交換の実施	経営戦略室

視点② 京の水でここをくくむ

方針① こたえる

取組	取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課	
① お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化	営業所組織の再構築	○防災拠点として給水車等を活用した応急給水訓練の実施 ・給水車、仮設給水栓を活用した応急給水訓練の実施 ・給水車の運転、操作研修の実施	・給水車の運転、操作研修及び仮設給水栓を使用した応急給水訓練を実施 ・給水車の維持管理に対する研修を実施	総務部お客さまサービス推進室
	積極的なマーケティングリサーチの推進	○鉛製給水管の解消に向けた周知及び下水道接続確認業務の実施	・日常業務における開栓等の受付時に鉛管が残存していることをお知らせし、担当課から連絡する旨を伝えるとともに、水道部との連携を図り、鉛管解消に取り組んでいる	総務部お客さまサービス推進室
		○大口利用者利用状況調査の充実 ・大口利用者等への調査結果の検証 ○地下水等利用専用水道利用者への訪問	・大口利用者等への調査結果を取りまとめ、水道の使用動向や節水意識、新サービスの需要等について検証を行った。 ・地下水等利用専用水道利用者への訪問を実施	総務部お客さまサービス推進室
		○民間賃貸マンションの各戸検針・各戸徴収サービスに係る周知及びサービスの開始	・令和2年2月から本サービスを開始した。	総務部お客さまサービス推進室
		○一元化されたお客さま情報を活用するサービスの検討	・お客さまからの問合せ受付に当たって必要な情報について、水道料金システムへの連携・一元化を完了した。	総務部総務課、お客さまサービス推進室
② お客さまの声を反映した新たなサービスの展開	インターネット等を活用した新たなサービスの展開	○使用水量等のインターネット閲覧サービスに係るPRの促進	・ホームページでの継続したバナーの掲載をはじめ、水道の開栓時において、使用水量等のインターネット閲覧サービス(みずみるネット)に係るチラシを配付してお知らせしている。 また、11月及び12月には、インターネット閲覧サービス(みずみるネット)に関する記事を掲載した事業PRリーフレットを水道メーター検針時に全戸配布した。	総務部お客さまサービス推進室
		○インターネットによるクレジットカード継続払い申込みサービスのPR	・ホームページでの継続したバナーの掲載をはじめ、水道の開栓時において、インターネットによるクレジットカード継続払いに係るチラシを配付してお知らせしている。	総務部お客さまサービス推進室
		○納付書支払窓口の拡充に係る制度検討	・当局に代わって複数の支払窓口から料金を収納する「代理収納サービス」の導入に向けて調査中	総務部お客さまサービス推進室
		○充実した「積極的に行動するサービス」の実施	・積極的に行動するサービスの充実した実施に向け、下水道バージョンの紙芝居を取り入れた、「わくわくすいどうひろば」を年8回実施し、京(みやこ)の水サロンを年4回実施した。	総務部お客さまサービス推進室
	IoTの活用等も見据えたサービスの在り方の研究	○水道スマートメーターの導入に伴う効果等の研究及び試験的導入	・平成30年12月から行ってきた水道スマートメーターに関する実証試験が令和元年5月末に終了し、研究成果について局内の水道スマートメータープロジェクト会議にて報告 ・全国会議であるA-SmartプロジェクトやA-Smartプロジェクト事業体WG等に複数回参加し、情報収集、協議及び現地調査を実施 ・日本水道協会平成31年度全国会議における水道研究発表会において、当局で実施した実証試験に関する研究発表を実施	総務部お客さまサービス推進室 水道部水道管路課
○使用水量に応じたポイント付与制度及び「水道使用水量のお知らせ」の内容を音声で伝えるサービスなど新たなサービスの実施に向けた検討・実施		「水道使用水量のお知らせ」等の内容を音声で伝えるサービスを2月に導入	総務部お客さまサービス推進室	

③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進	戦略的な広報活動の推進	○戦略的な広報計画の策定及び取組の充実 ・戦略的な広報計画の策定(毎年度) ・利き水体験や、お風呂の魅力や効能を啓発するワークショップ等の参加型・体験型のイベントの実施 ・子ども向けPRプログラム「わくわく すいどうひろば」の実施 ・「知って安心 くらしと水道「京(みやこ)の水サロン」の実施	・参加型・体験型イベントの実施 1 京の水・おふろキャラバンの実施 2 「おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン」の実施 3 「下水道の日」街頭キャンペーンの実施 4 子ども向けPRプログラム「わくわく すいどうひろば」の実施 5 知って安心 くらしと水道「京(みやこ)の水サロン」の実施	総務部総務課
		○事業への理解促進、水道水や雨水の活用推進に向けた広報活動の展開 ・鳥羽水環境保全センター・蹴上浄水場一般公開や施設見学会等の開催 ・「おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン」の実施 ・「水道水・雨水で花いっぱい！」の取組の展開 ・「京の駅ミスト」の実施及び京都駅前バスAのりばへの拡充 ・「京のまちなかミスト」の実施 ・ミスト装置貸出の実施 ・「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進	・鳥羽水環境保全センター・蹴上浄水場一般公開の開催 ・「おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン」の実施(再掲) ・「京の駅ミスト」及び「京のまちなかミスト」の実施 ・ミスト装置貸出の実施 ・「水道水・雨水で花いっぱい！」(花苗や種を配布)の実施 ・浄水場見学の開催(8,057人受入) ・水環境保全センター見学者数(2,651人受入) ・本市とウォータースタンド株式会社で給水スポット拡大に係る協定を締結 ・京都市京セラ美術館にミスト装置及び水飲みスポットを設置	総務部総務課
	事業運営のためのニーズ把握	○「水に関する意識調査」(毎年度調査)の実施、結果の分析	・10月1日～31日に令和元年度調査を実施 ・回答数:2,246通(回収率:44.9%) ・調査結果について3月25日に公表	経営戦略室
	○各種イベント等で実施するアンケート及び上下水道モニター制度等による広聴活動の展開	・鳥羽、蹴上一般公開でのアンケートの実施 ・上下水道モニターの実施(施設見学、意識調査等) ・ミストモニター施設に対するアンケート調査を実施	総務部総務課	

方針② ゆたかにする

取組	取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課	
① 琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献	琵琶湖疏水の魅力の更なる向上と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○疏水路の維持管理・整備, 石積の補修 <ul style="list-style-type: none"> ・疏水路の維持管理・整備の実施(緑地維持管理, 土砂浚渫, 施設の点検整備等) ・石積整備工事の実施 ○琵琶湖疏水記念館開館30周年記念事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・飲食イベント ・特別展 ・連続講座 ○琵琶湖疏水通船において, 3隻目となる船舶の新造 ○見学ツアー等の事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外からの来訪者に向けた文化体験を伴う乗船プラン造成等の実証実験 	<ul style="list-style-type: none"> ・疏水路の維持管理・整備の実施(緑地維持管理, 施設の点検整備) ・疏水本線石積整備工事の実施 ・疏水分線水路部補強工事の実施中 ・飲食イベントを実施(2回) ・特別展を実施(2回) ・連続講座を実施(6回) ・3隻目となる船舶の就航 ・国内外の事業者(代理店やホテルコンシェルジュ等)及び一般向けのモニターツアーや、ファミリーツアーを実施 ・中国での認知度を向上を図るため、中国のTV番組による撮影を実施 ・市内小学生(音羽・安土・陵ヶ岡小の4年生)を対象にした教育乗船を試行的に実施 	水道部施設課
	琵琶湖疏水通船のプロモーション等	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外に向けた疏水の魅力PR <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏を中心とした情報発信の展開 ・SNS広告等による事業プロモーション ○人材育成等の運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖疏水の魅力を伝えるガイド等(多言語ガイドを含む)の人材育成の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏PRとして、京都館ののれんわけ事業者(14社)と東京事務所に対し、パンフレット(びわ湖疏水船)及びチラシ(ふるさと納税でよみがえる船の旅)の配架を実施 ・首都圏PRとして、東京都と神奈川県在住者を対象に、ウェブサイト上に事業PRバナーを掲載(12月及び3月) ・中国での認知度を向上を図るため、中国のTV番組による撮影を実施 ・ガイド及び操船者の育成の実施 ・インバウンド受入態勢構築に向け、多言語ガイド(英・中)の育成を実施 	総務部総務課
	京都のまちなみ保全や景観の向上への寄与	<ul style="list-style-type: none"> ○青空美術館等の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・道阿弥幹線公共下水道工事における「青空美術館」の実施 	道阿弥幹線公共下水道工事の仮囲いに絵画を掲載中。	水道部管理課 下水道部管理課、下水道建設事務所
	創エネルギー・省エネルギーによる低炭素社会の実現への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量削減のための取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○創エネルギー対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電, 小水力発電による再生可能エネルギーの利用 ○省エネ・高効率機器の採用, 使用電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・新山科浄水場高区送水ポンプ更新工事(事業年度:2016~2019年度) ・伏見水環境保全センター合流系反応タンク設備工事(事業年度:2018~2019年度)(完成予定時期:2020年3月) 環境マネジメントシステム(EMS)の運用による環境負荷の低減と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ○本庁舎, 事業所, 浄水場及び水環境保全センターにおける環境マネジメントシステムの継続的運用 ○環境報告書の作成・発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・局施設に設置した太陽光発電設備(15箇所)及び小水力発電設備(1箇所)の適切な管理を行うことにより機能を維持し, 再生可能エネルギーを継続的に利用 ・新山科浄水場高区送水ポンプ更新工事 10月に工事完了 ・伏見水環境保全センター合流系反応タンク設備工事 3月に工事完了 ・4つの環境マネジメントシステム(EMS)を構築し, 各EMSの実施計画に基づいた環境保全に資する取組の実施 ・環境報告書の発行及びホームページへの公開(10月31日) 	技術監理室監理課
	地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> 下水汚泥処理施設の再構築 <ul style="list-style-type: none"> ○鳥羽水環境保全センター下水汚泥固形燃料化事業(事業年度:2018~2020年度) ○消化ガスの汚泥焼却炉等への利用 ○脱水汚泥及び焼却灰のセメント原料への利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去工事が完了し, 建設工事実施中。 ・消化ガスを汚泥焼却炉等の燃料に利用 ・脱水汚泥及び焼却灰をセメント原料に利用 	下水道部設計課

視点③ 京の水をささえつづける

方針① になう

取組	取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課
① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける企業力の向上	○採用5年目までの職員を対象とした専門技術研修の実施	・専門技術研修の実施(18講座実施)	総務部企業力向上推進室
	○水道技術研修施設の運用 ・上下水道局職員の技術研修を実施 ・他都市事業者受入の開始	・専門技術研修【給水装置・排水設備】を実施 ・局内防災危機管理研修を実施(全10回) ・日本水道協会主催の研修を実施 ・他都市モニター研修(管内洗浄及び断通水作業について)を実施 ・水道技術管理者取得講習会を実施。	水道部管理課
	○下水道事業に係る体験型研修施設の整備 ・下水道体験型研修施設整備工事(事業年度:2018～2020年度)	・下水道体験型研修施設整備工事中	下水道部設計課
	○技術研修マネジメントシステムの試行	・「e-ラーニングサービス」を活用した研修の確認テストやアンケートを全専門技術研修で実施	総務部企業力向上推進室
	○「聴く力・受け止める力・伝える力」向上研修の実施 ・ファシリテーター養成講座の実施 ・プレゼンテーション研修の実施	・プレゼンテーション研修の実施 ・ファシリテーター養成講座の実施	総務部企業力向上推進室
	○キャリア形成支援、人事交流等の推進 ・市長部局との交流、国・他都市・他団体等への派遣の充実の検討・実施 ・民間企業派遣研修の実施	・市長部局との人事交流の実施 ・派遣職員の充実 ・大阪ガス(株)等への派遣研修の実施	総務部企業力向上推進室、職員課
	○柔軟な働き方の仕組みの検討・構築 ・育児・子育て・介護に関する休務等に係る取得要件の見直しを実施 ・朝型勤務の実施	・「育児部分休務」に係る取得要件の見直し ・朝型勤務の実施	総務部職員課
	○若手職員の意欲向上を図る取組の実施 ・若手職員・グループ等の交流機会の創出 ・資格取得支援制度の対象資格拡大	・他事業者の若手職員と職員グループとの交流会を実施 ・資格取得支援制度の対象資格を拡大	総務部企業力向上推進室 経営戦略室
	○コンプライアンスの徹底を図る取組の実施 ・職員のコンプライアンスに対するより一層の意識向上を図るための研修等の実施 ・服務監察及び業務監察の実施	・服務観察及び業務監察の実施	総務部企業力向上推進室
	② 京の水をもっと支える市民・事業者の皆さまとの更なる連携	○水道・下水道の御利用等に係る情報発信 ・メーター点検訪問時の広報物配布等	・「水道メーター検針時配布リーフレット」を配布
○市民向け講座の検討・実施		・連続講座の実施(6回)	総務部総務課 経営戦略室
○市民・事業者による体験型研修施設の活用		・一般社団法人京都市公認水道協会主催給水装置工事配管技能検定会を実施した ・日本水道協会東播支部の受け入れを実施した ・他企業(大阪ガス)の研修受け入れを実施した ・JWRC水道講座の視察受け入れを実施した ・市民モニターの受け入れを実施した。	水道部管理課
○オープンデータの推進 ・ポータルサイト掲載データセット数(新規及びデータ形式の見直し) 目標5件		・データセット新規3件を掲載(更新は8件)	総務部総務課
○公契約基本条例に基づく取組の推進 ・分離分割発注の推進など市内中小企業の受注等の機会の増大		以下の取組を継続して実施 ・分離分割が可能かどうか案件ごとに精査するとともに、市内中小企業のみで競争性が確保できるものは市内中小企業へ発注 ・対象となる公契約について、労働関係法令遵守状況報告書の提出を求める ・社会保険未加入対策に係る取組を実施 ・建物清掃等の役務業務の入札における最低制限価格の設定	総務部契約会計課
○関係団体と一体となった技術力の向上・技術継承の推進		・サービス協会との更なる連携を図るため、上下水道事業の基幹的な業務における技術力の向上や技術の継承の在り方について検討	経営戦略室

方針② ささえる

取組		取組内容及び目標	令和元年度実施状況	担当課
①	施設マネジメントの実践 施設マネジメントの実践 施設マネジメントの実践	○優先順位を踏まえた建設事業計画の作成・実施	・優先順位を踏まえて作成した建設事業計画に基づき、改築更新、耐震化の取組に向けた検討を実施中	経営戦略室 水道部管理課 下水道部計画課
		○庁舎の長期修繕計画策定	建物保全維持計画に3庁舎(太秦庁舎, 南部営業所, 北部営業所)の追加及び各庁舎における修繕費用の平準化を含む庁舎長期修繕計画を策定した。	技術監理室 監理課
		○庁舎の長期修繕計画の運用開始	庁舎長期修繕計画を基に、対象となる庁舎にヒアリングや現地調査を実施した。	技術監理室 監理課
	工事検査手法の改善及び体制強化	○工事検査の手法改善(本格運用)及び検査体制の強化	第4四半期においても、工事請負代金500万円以上のすべての工事で、事前提出による工事検査を実施した。	技術監理室 監理課
②	業務執行体制の効率化及び活性化	○第6期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編, 職員定数の削減(△27人)	第6期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編・職員定数の削減(△27人)の実施。	総務部職員課
		○民間活力の導入の推進 ・本庁舎お客さま窓口サービスコーナー運営業務の委託化	・4月1日から本庁舎お客さま窓口サービスコーナー運営業務委託を実施済	総務部お客さまサービス推進室
		○民間活力の導入の推進 ・石田水環境保全センターにおける運転管理業務の委託範囲の拡大	・平成31年4月から石田水環境保全センターにおける運転管理業務委託に保守点検業務を追加	下水道部施設課
		○庁舎の再編等 ・水道管路管理センター南部配水管理課・南部給水管理課の移転及び集約	・水道管路管理センター南部配水管理課及び南部給水工事課の集約に伴う移転を完了した	水道部
	ICT活用によるコスト削減	○イントラ管理用サーバ群のサーバ仮想化の実施	・サーバ4台の仮想化を実施	総務部総務課
		○水道・下水道管路のデータベース(管路情報管理システム)の統合に向けた検討	・統合・連携が可能な項目の精査, 集約, 課題の抽出について、関係所属による協議の結果, コスト削減及び業務効率化の効果が少ないことから両システムの統合は見送ることとなった。	総務部総務課 水道部管理課 下水道部管理課
		○業務システムに係る新たな技術導入に向けた調査・研究	・総務課ICT推進担当内業務(申請許可)においてRPAの実証実験を実施。一定の効果が認められたため、本格導入を目指し、令和2年度に試験導入を行う。	総務部総務課 技術監理室監理課

③	将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化	長期的な財政目標達成に向けた財政基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○資産維持費等のこれまでに確保した自己資金の活用による企業債残高の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・(水道)建設改良積立金21億円の確保、企業債残高△45億円の削減 ・(下水道)減債積立金7.7億円の確保、企業債残高△97億円の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・資産維持費等のこれまでに確保した自己資金を活用し、企業債残高を削減(水道)積立金確保 28.0億円(目標+7.0億円)企業債残高削減 △45億円(目標どおり)→企業債残高 1,618億円(目標どおり) ・(下水道)積立金確保 34.9億円(目標+0.4億円)企業債残高削減 △106億円(目標△9億円)→企業債残高 2,787億円(目標△16億円) 	経営戦略室		
			<ul style="list-style-type: none"> ○下水道大規模更新等に備えた積立金の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・建設改良積立金及び減債積立金34.5億円の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業において、土地開発公社先行取得用地の買戻しや企業債償還のための積立金確保予定34.9億円(対目標+0.4億円) 	経営戦略室		
			<ul style="list-style-type: none"> ○企業債償還方法の見直し等による総支払利息の削減(以下、前年度予算比) <ul style="list-style-type: none"> ・(水道)支払利息△2.2億円の削減 ・(下水道)支払利息△6.4億円の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債償還方法の見直しや、企業債残高の削減により、総支払利息を削減(以下、前年度決算比)(水道)△3.0億円(目標△0.8億円)(下水道)△7.2億円(目標△0.8億円) 	経営戦略室		
		保有資産の有効活用をはじめとした増収策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○南北拠点整備に伴う空き施設の全庁的な活用に向けた準備及び売却・貸付の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・元西京営業所を有償管理換え ・元北部給水工事課、元きた下水道管路管理センターの解体撤去工事が完了 ・元資器材・防災センターの分筆が完了 	経営戦略室		
			<ul style="list-style-type: none"> ○土地開発公社先行取得用地買戻しに係る積立金の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地開発公社先行取得用地買戻しに係る積立金を26.9億円確保(目標どおり) 	経営戦略室		
			<ul style="list-style-type: none"> ○保有資産の有効活用の検討及び売却・貸付の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・保有資産の有効活用に向けた商品化(測量、境界確定等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・元北部営業所を売却 ・未利用地について、測量や境界確定等を実施中 ・「水道使用量のお知らせ」裏面への広告掲載実施 ・ホームページバナー広告の掲載(随時) 	経営戦略室		
			<ul style="list-style-type: none"> ○水需要喚起策の実施及び新規施策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ミスト装置の更なる普及促進等 ・利き水体験やお風呂の魅力や効能を啓発するワークショップ等の参加型・体験型のイベントの実施(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・京の水・おふるキャラマンの実施(再掲) ・「おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン」の実施(再掲) ・「下水道の日」街頭キャンペーンの実施(再掲) ・「水需要の喚起に向けた方策検討チーム」における検討 	総務部総務課		
			<ul style="list-style-type: none"> ○単年度事業計画の策定・実践及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局運営方針を策定・公表 ・実施状況について適宜進捗管理を実施 ・半年毎に状況についてホームページで公表 	経営戦略室		
		④	継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討	継続的な経営改善と経営状況の情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○経営審議委員会等の意見を踏まえた経営評価制度の充実及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営審議委員会の意見等に基づき、令和元年度経営評価(30年度事業)を令和元9月に作成・公表 	経営戦略室
					<ul style="list-style-type: none"> ○経営状況に係る情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・経営審議委員会の意見等を踏まえた経営評価冊子の作成及び公表 ・水道事業・公共下水道事業の一体的な予算・決算情報の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営情報を掲載したパネルを当局が実施するイベント(鳥羽水環境保全センター、蹴上浄水場及び区民まつり会場)に掲出 ・検針時に配布する事業PRリーフレットに経営情報を掲載 ・令和元年度上半期の上下水道局運営方針の実施状況を作成し、局HPに公表(12月) ・SNS(Twitter, Facebook)を活用して経営に関するクイズや動画を投稿 ・水道事業・公共下水道事業の一体的な予算・決算情報の公表として、令和元年度予算における資料の見直しを踏まえ、平成30年度決算概要及び令和2年度予算概要資料を作成し、公表 ・総合企画局が実施する市民参加ワークショップが開催され、当局が応募したテーマについて議論が行われた。 ・琵琶湖疏水記念館における市民向け講座の開始前に参加者に対して経営情報の発信(出張！教えて！ひかりちゃん)を実施 	経営戦略室
<ul style="list-style-type: none"> ○水道施設維持負担金制度の運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からの問合わせに適宜対応するとともに、制度対象先の昨年度及び今年度の使用水量等の把握・分析を実施 				経営戦略室		
<ul style="list-style-type: none"> ○料金制度に係る課題の抽出及び調査・研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・前中期経営プランや料金改正の効果の検証など料金・使用料制度に係る課題の抽出や分析を実施 			経営戦略室			
<ul style="list-style-type: none"> ○料金制度に係る課題の抽出及び調査・研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・前中期経営プランや料金改正の効果の検証など料金・使用料制度に係る課題の抽出や分析を実施 			経営戦略室			